

東海道新幹線トンネル内で 重さ18キロのモルタル落下

マスコミは「8月23日午前1時頃、東海道新幹線熱海～三島間の観音松トンネルで、下り側の側壁の下にモルタルが落下しているのを作業員が発見。点検の結果、列車の運転に支障がないため平常通りの運行をおこなった」と報道した。

はがれたモルタルは「縦およそ2メートル、横35センチ、厚さ5センチで重さは18キロ」といわれている。

「列車の運行には支障がないと判断した」ともいわれているが、何を根拠に判断したのか、東海道新幹線には66箇所もトンネルがあるのだ。高速走行中の列車に衝突したら重大事故につながることは明らかである。

JR東海労は、原因究明のため、会社側に以下の通り申し入れた。

1. 観音松トンネル内モルタル落下の状況、原因を明らかにすること
2. 「点検の結果、列車の運転に支障がないため平常通り運行をおこなった」とマスコミ発表しているが何を根拠に列車の運行に支障がないと判断したのか明らかにすること。
3. 東海道新幹線全トンネルの点検箇所や点検方法を明らかにすること。



走行中の列車に衝突
したら重大事故だ！